

別添資料

道徳的諸価値に

多面的・多角的に向き合うことができる道徳科学習指導の工夫

— 哲学対話を取り入れた授業モデルの構築を通して —

呉市立広南小学校

木下 真弥

別添資料 1 研究授業の内容と発話の記録（一部抜粋）（第 1 学年）

研究授業の内容と発話の記録（一部抜粋）（第 3 学年）

別添資料 2 研究授業の内容と生き方づくりにおける児童の記述（一部抜粋）

研究授業の内容と発話の記録 (一部抜粋)

	研究授業 (第 1 学年)
月日	令和 7 年 7 月 10 日
主題名	美しいもの
内容項目	D 項目「感動、畏敬の念」
ねらい	「美しいもの」について児童がもった問いをもとに対話することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考え、「感動とは何か」について追究し、美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。
教材名	「あめが あがって……」
【出典】	【「新編 あたらしい とうとく 1」東京書籍】
授業展開	1 道徳的諸価値に関する問い ○みんなは、「感動」って、したことあるかな。 <u>a 道徳的諸価値に関する「答えのない問い」につなげる工夫</u> 2 自己を見つめる問い ○美しいポイントを探しながら聞いてみよう。 <u>b 自分との関わりで考えるための工夫</u> ○どのはてなについてみんなで考えたいだろう。 <u>c 多面的・多角的に向き合うための対話に向かうための工夫</u> 3 多面的・多角的に向き合う問い 対話のツール：「問いワード」の活用 <u>d (対話を促すための工夫)</u> 〈自己を見つめて発見した答えのない問いによる対話、対話による新たな問いの発見〉 によって生まれる道徳的諸価値のつながり 4 自己の生き方についての考えを深める問い直し ○みんなにとって、「感動」するって、どんなことだろう。これからどんなふうに過ごしていきたいだろう。 <u>e 自己の生き方につながるための工夫</u> <u>〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」に基づく自己の生き方についての考えを深める問い直し〉</u>

教師	児童
【問いづくり】 ★何がきれいだったかな？ ・どう思った？ ・美しくないって言っていた人もいたね。 <u>感想・はてなの交流</u> ・みんなも悲しくなった？ ・〇〇さんは、<u>なんで</u>悲しくなったのかな？	・<u>カタツムリ</u>が<u>嬉しい</u>って言ってたです。 ・<u>虹</u>がきれいだなと思いました。七色の色がいいと思いました。あと、景色がいいなと思いました。 ・〇〇くと似ていて、虹が二つあってきれいだなと思いました。 ・カタツムリがこんなシマシマなのがあるんだってと思いました。 ・みずたまりの時が、キラキラしてきれいでした。 ・水たまりがきれいだから、長くつで踏んでみたいなと思いました。 ・<u>全部の絵</u>を見て、心が悲しくなりました。 ・ううん。 ・逆に感動した。 ・きれいだなって思った。 ・妹がお泊りの保育で…。
【考えづくり】 ★カタツムリを、〇〇くんは嫌だ～って言うけど、シマシマが～とか、嬉しいって言っている人がいたんだけど、カタツムリさんは<u>どうかな？</u> 【自己を見つめる問いでの考えとつなげる】 ・かわいくないって言っている人もいるね。どうかな？ ・人間と違うこともあるから不思議だなと思うんだね。	・カタツムリはねばねばするけど、すごいちっちゃいつぶつぶができていて、あんまり見れないからきれいだなと思いました。 ・カタツムリは、どっかについているからかわいいです。 ・え～かわいくないよ～。(つぶやき) ・え～かわいいよ～。(つぶやき) ・殻がぐるぐるしててすごいなと思いました。 ・〇〇ちゃんと似ていて、カタツムリが困ったときにすぐにカラに入れるのがすごいなと思いました。 ・それが面白いよね。(つぶやき) ・カタツムリは触るのは嫌いだけど、でも、見た目がかわいいからペットにしてみたいです。 ・目が角のところであって、人間は普通ここに(目を指して)あるけど、カタツムリは角の上にあるからなんでもかと思って、殻に入っちゃったときも出ちゃわないかなと思います。 ・ネバネバするんだもん。人間はネバネバせんけど、カタツムリだけネバネバするもん。 ・カタツムリの殻がぐるぐるなのは、体がザリガニみたいで、身を守るときにぎゅうぎゅうになって身を守るためです。

	研究授業 (第 3 学年)
月日	令和 7 年 7 月 10 日
主題名	美しい心
内容項目	D 項目「感動、畏敬の念」
ねらい	「美しい心」について児童がもった問いをもとに対話することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考え、「人間は何に感動をするのか」について追究し、美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。
教材名	「しあわせの王子」
【出典】	【「新編 新しい どうとく 3」東京書籍】
授業展開	1 道徳的諸価値に関する問い ○みんなは何を見たときに「きれいだな。」「美しいな。」って感動するだろう。 ○「クレヨンしんちゃん」の映画で涙が出る、運動会で中学生の姿を見て涙が出る等、こんな経験あるだろうか。 a 道徳的諸価値に関する「答えのない問い」につなげる工夫 2 自己を見つめる問い ○あなたはどこに心が動くだろう。 b 自分との関わりで考えるための工夫 ○どんな疑問についてみんなで考えたいだろう。 c 多面的・多角的に向き合うための対話に向かうための工夫 3 多面的・多角的に向き合う問い 対話のツール：「問いワード」の活用 d 〈対話を促すための工夫〉 〈自己を見つめて発見した答えのない問いによる対話、対話による新たな問いの発見〉 によって生まれる道徳的諸価値のつながり ①感動、畏敬の念 誰かのために一生懸命な心や思いやりのある心はすくなく素敵なんだ。同じようにできなくても、友達に「すごいな。」って思うのも素敵なんだ。「すごいな。」と感動できる自分。「そこに近づきたい。」と考える自分を大切にしたい。 人間は、何に「感動」するのだろう。 ②希望と勇気、努力と強い意志 あきらめず頑張ったり、やり抜いたりする姿って、確かにカッコいいし尊敬したくなる。だから、人は感動するんだろうな。自分の姿で感動させられくれない目標に向けて頑張ってみよう。 ③親切、思いやり 相手の気持ちを考えたり行動したり、人に優しく接したりできる人って素敵だな。その人の美しさに関われる人になりたい。思いやりをもって親切を行えば人にもなりたい。 4 自己の生き方についての考えを深める問い直し ○あなたにとって、感動するよさってなんだろう。感動に対する、これまでの自分、これからの自分について何を考えるだろう。 e 自己の生き方につながるための工夫 <u>〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」に基づく自己の生き方についての考えを深める問い直し〉</u>

教師	児童
【問いづくり】 ○こういう経験（映画を見て涙が出ているイラストをモニターに映す）ってあるかな。 ○これって、何に感動してるのかな。 ○先生この前の運動会で、団長の涙に涙してしまったんだけど、先生は何に感動したんだろう。 ○え？先生？先生もやる気だったってこと？	・ああ～！！ ・あるある！ ・え？ ・う～ん…。 ・うれし涙？ ・やる気の涙？ ・先生もやる気…？
【考えづくり：前半】 ★みんなから出た「なんでツバメは王子様についていたのだろう」から考えよう。 ★さっきも輝いているからって言ってくれた人がいたんだけど、王子様ってなんでこんなことできたんだろうね。 ★でも、涙を流しているのはなんでだろう。 ☆え？動けないからなの？	・王子さまは動かないからついていったと思います。 ・○○君と似ていて、王子さまは動けないし、町の人がかわいそうだからだと思います。 ・美しくて輝いているから。 ・○○さんと似ていて、王子様一人じゃ大変だから。 ・王子様が悲しそうだから。 ・○○君と似ていて、ほっといたらずっと泣きっぱなしだと思うから。 ・町の人が悲しそうだから。 ・みんなが困っているから優しくしたと思います。 ・みんなと似ていて、王子は自分のことじゃなくて町の人のことを思っていて、町の人のことの方が大事だからだと思います。 ・王子は町の人の方の方が大切なんだと思います。 ・自分のことよりみんなが困らない方が良かったと思います。 ・動けないから…。 ・いや、人々が困っているから…。 ・みんなを幸せにしたいのにできない自分がかわいそうと思った。
【考えづくり：後半】 ★キラキラでもない、ぼろぼろの王子様と亡くなったツバメ。なんで天使は連れて行ったんだろう。 ☆え？何に？ ☆他には？	・優しいからです。 ・感動したから。 ・優しさ…？ ・助け合いがある感じです。 ・自分のためにじゃなくてみんなのためにのところ。 ・みんなのために何かしてあげようってしたところ。

研究授業の内容と生き方づくりににおける児童の児童の記述（一部抜粋）

研究授業 第5学年	生き方づくりににおける児童の記述と発話の量の関係性 (教材の感想：線なし、道徳的諸価値に関する考え：点線、 問いに対する考え：太字、考えの広がり：枠囲み、 内省：網掛け、これからについて：一本線)
月日 主観名 内容項目 令和7年7月17日 本当の自由とは A項目「善悪の判断、自律、自由と責任」	
ねらい 児童から出てきた教材に係る「問い」を起点に対話することを通して、「自由と自分勝手の違い」について多面的・多角的に考え、「本当の自由とは」何か、「自由を大切にすることはどういうことか」を追究し、自律的に判断し、責任ある行動をしようとする心情を育てる。	児童A (△) 救急救命士でも、すぐには命を救えないからすごいと思います。私は将来は、イラストレーターになって、みんなが楽しめるイラストを描きたいです。 今日の学習を通して、自由と自由すぎるの違い、自由とはどういうことかを学びました。友達の見解の、「自分勝手だったり、人に迷惑がかったりしたら、自由とは違う」という意見に、確かにそうだなと思って見方や考え方を考えることができました。今までは、自由とは誰にも縛られない、何をやってもいいのが自由だと思っていましたが、自由は私が思っていたものと違いました。これからは、どんなことが自由か考えながら過ごしてみたいです。
教材名 【出典】 「うばわれた自由」 【「私たちの道徳 小学校5・6年」文部科学省】	
1 道徳的諸価値に関する問い ○みんなにとっての「自由」って何だろう。 ○例えば、「自由にしたいこと」って、どんなことだろう。 a 道徳的諸価値に関する「答えのない問い」につなげる工夫 2 自己を見つめる問い ○二人の考える「自由」、自分たちが考える「自由」の似ているところや違うところはどこだろうと考えながら聞いてみよう。 b 自分との関わりで考えるための工夫 ○どんな疑問についてみんなで考えたいだろう。 c 多面的・多角的に向き合うための対話に向かうための工夫 3 多面的・多角的に向き合う問い 対話のツール：「問いワード」の活用 d (対話を促すための工夫)	児童B (△) 今日の勉強で、働いたら誰かのためにすることが分かりました。 今日の学習で分かったことは、「自由」もいいことばかりではなくて、ちゃんと守らなければいけないこともあるということです。私は、自由は、誰にも何も言われないで、自分が好きなことをたくさんできるの、すごくいいなと思いました。けれど、自由によつて生きていたら後から後悔することもあるかもしれないので、これからはルールをきちんと守って、「自分」も気を付けながら頑張りたいです。 児童C (○) 将来のことは考えたことはあるけど、こんなに人の役にたっているのを初めて知って、もっと勉強して人を助けられる人になりたいです。 今日の学習を通して、ぼくは自由はないと思っていたけど、友だちの意見を聞いて、自由はたくさんあるし、身近なところにあることも分かりました。これからは、自分も自分勝手という行動をやらないように、気を付けようと思いました。 児童D (○) 今日の学習で分かったことは、自分のためにやる仕事は、仕事の時だけじゃなくて、人のためにその仕事で役立つことが分かりました。 今日の学習で分かったことは、自由なのはいいいけれど、自由すぎるのは人に迷惑がかかるからダメだということです。また、友だちの「自由はいいいけれど、自分で決めることが大切だ」という意見を聞いて、だから、お母さんたちはルールを作っているんだなと思いました。これからは、自由はいいいけれど、ルールをしっかり守って、自由な(自分の)時間を過ごしたいです。
授業展開 〈自己を見つめて発見した答えのない問いによる対話、対話による新たな問いの発見〉 によって生まれる道徳的諸価値のつながり	児童E (◎) 自分のことより、人のことやお金よりも大切なことがあると思って働きたいし、救急救命士で例えると、お金をもらえることよりも人の命を助けることが大切だとこの授業で分かったので、これから将来に向けて頑張っていきたいです。 今日の学習を通して分かったことは、自由はいいいけれど、自由すぎるのもよくないということです。自分をおさえられる人と自分をおさえられない人は違っていて、抑えられる人は親からルールを決められないけど、抑えられない人は親からルールが決めてしまいうし、したいことをするのとしたくないことをしないのは自由だけれど、したいことをしないのとしたくないことをするのは自分で決めるので、自由はいいけれど、自由すぎるのは良くないとわかりました。僕は今まで、親にルールを決められて嫌だったけど、話を進めていくと、親がルールを決めるのは、抑えられない自分の将来を思ってルールを決めていることが分かりました。これからは、親に怒られないようにルールを守りながら自由を体感したいと思います。
4 自己の生き方についての考えを深める問い直し ○あなたにとって自由にするとはどういうことだろう。 今日の学習を通して、これまでの自分、これからの自分について何を考えるだろう。 e 自己の生き方につながるための工夫 〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」に基づく自己の生き方についての考えを深める問い直し〉	

〈道徳的諸価値に関する「答えのない問い」に基づく自己の生き方についての考えを深める問い直し〉